

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名 市光工業株式会社  
 コード番号 7244 URL <http://www.ichikoh.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 市川 侑男  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 米田 摂津太郎  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 東

TEL 03-3443-7281

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	29,138	—	527	—	934	—	457	—
20年3月期第1四半期	28,237	△0.6	△36	—	123	△86.8	△80	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第1四半期	4.77		—	
20年3月期第1四半期	△0.84		—	

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
21年3月期第1四半期	98,081		32,891		31.1	318.17		
20年3月期	97,673		32,285		30.8	313.39		

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 30,524百万円 20年3月期 30,065百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	60,000	4.5	850	28.1	1,100	35.5	400	203.9	4.17
通期	121,000	△0.1	2,400	0.4	2,700	5.3	1,100	△66.0	11.47

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名 ) 除外 — 社(社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注) 詳細は2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 96,036,851株 20年3月期 96,036,851株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 100,537株 20年3月期 99,885株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 95,936,558株 20年3月期第1四半期 95,949,384株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、平成20年5月16日発表における業績予想値からの変更はありません。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、原油価格や素材価格の高騰、急激な円高の影響を受け、企業収益が減少し、設備投資や個人消費が力強さを欠くなど、景気減速傾向が見られる展開となりました。また、世界経済におきましても、特に米国におけるサブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱により景気減速懸念が強まるなど、先行きの不透明感が強まる状況となりました。

当社グループが属する自動車業界におきましては、国内自動車販売が伸び悩んだものの、対新興国、資源国向けを中心とした輸出が引き続き好調に推移し、国内生産台数は前年同期比5.5%の増加となりました。

このような環境の中、当社グループの第1四半期連結売上高は、29,138百万円となりました。収益面では、営業利益は527百万円、経常利益は934百万円、四半期純利益は457百万円となりました。

当社グループ主力の自動車部品関連の売上高は28,324百万円で、自動車関連以外の部門における売上高は、813百万円となっております。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①日本

日本におきましては、国内需要が減少したものの、対新興国向けを中心とした輸出が好調に推移し、国内生産台数が前年同期比5.5%の増加となったことから、売上高26,581百万円、営業利益251百万円となりました。

#### ②北米

北米におきましては、自動車生産台数が減少傾向の中、売上高は972百万円、営業損失は18百万円となりました。

#### ③アジア

アジアにつきましては、マレーシア及びインドネシアにおける現地生産が拡大し好調に推移したことから、売上高1,584百万円、営業利益は259百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の総資産は98,081百万円となり、前連結会計年度末比408百万円の増加となりました。その主な要因は、流動資産の増加243百万円、投資その他の資産の増加224百万円、流動負債の増加1,188百万円、固定負債の減少1,387百万円であります。また、純資産は32,891百万円となり、自己資本比率は31.1%となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物の当第1四半期期末残高は10,879百万円となり、前連結会計年度末比1,731百万円の減少となりました。

営業活動により獲得した資金は税金等調整前当四半期純利益851百万円、減価償却費1,086百万円、売上債権の増加1,517百万円等により300百万円となりました。投資活動により使用した資金は有形固定資産の取得による支出1,856百万円、有形固定資産の売却による収入1,171百万円等により749百万円となりました。財務活動により使用した資金は長期借入金の返済による支出1,371百万円等により1,342百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当第1四半期の業績が概ね計画通りに推移しておりますので、現時点においては平成20年5月16日発表における業績予想値からの変更はありません。

当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断している見通しであります。今後米国経済の低迷の長期化や、原材料価格の更なる高騰、為替・株式相場の動向が懸念され、景気の先行きは予断を許さない状況が続くものと予想されますので、実際の業績は、現時点の業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。なお、当期の配当金につきましては、安定的、継続的な配当を実現すべく、更なる企業価値向上に向けた経営努力に努めて参ります。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、持分法の適用の異動状況は、以下の通りであります。

持分法 新規 1社（社名 無錫光生科技有限公司） 除外 1社

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. たな卸資産については、従来、主として先入先出法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、主として先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ147百万円減少しております。

3. 当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号）を適用しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

4. 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）を当第1四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

なお、これにより損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,747	13,440
受取手形及び売掛金	23,618	22,001
有価証券	90	89
商品及び製品	4,725	4,243
仕掛品	1,198	1,084
原材料及び貯蔵品	2,823	2,855
繰延税金資産	2,047	2,004
その他	5,330	5,621
貸倒引当金	△35	△36
流動資産合計	51,546	51,303
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,005	9,033
機械装置及び運搬具（純額）	8,118	8,348
工具、器具及び備品（純額）	2,820	2,959
土地	6,192	6,181
リース資産（純額）	57	—
建設仮勘定	3,202	2,960
有形固定資産合計	29,397	29,482
無形固定資産	259	234
投資その他の資産		
投資有価証券	6,935	6,477
繰延税金資産	6,479	6,663
その他	3,487	3,537
貸倒引当金	△24	△24
投資その他の資産合計	16,878	16,653
固定資産合計	46,535	46,370
資産合計	98,081	97,673

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間末  
(平成20年6月30日)前連結会計年度末に係る  
要約連結貸借対照表  
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,166	21,651
短期借入金	3,595	3,275
1年内償還予定の社債	80	80
1年内返済予定の長期借入金	5,633	5,582
未払法人税等	346	308
未払費用	4,551	3,375
製品保証引当金	2,316	2,316
役員賞与引当金	61	55
その他	3,184	3,100
流動負債合計	40,934	39,746
固定負債		
社債	100	100
長期借入金	15,556	16,894
退職給付引当金	8,100	7,999
役員退職慰労引当金	15	248
負ののれん	7	8
その他	474	392
固定負債合計	24,254	25,642
負債合計	65,189	65,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,929	8,929
資本剰余金	7,840	7,840
利益剰余金	16,480	16,315
自己株式	△26	△26
株主資本合計	33,224	33,059
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,136	△1,415
為替換算調整勘定	△1,563	△1,579
評価・換算差額等合計	△2,699	△2,994
少数株主持分	2,367	2,219
純資産合計	32,891	32,285
負債純資産合計	98,081	97,673

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	29,138
売上原価	24,889
売上総利益	4,248
販売費及び一般管理費	3,720
営業利益	527
営業外収益	
受取利息	33
受取配当金	84
持分法による投資利益	63
その他	386
営業外収益合計	568
営業外費用	
支払利息	110
その他	51
営業外費用合計	161
経常利益	934
特別利益	
貸倒引当金戻入額	2
その他	9
特別利益合計	12
特別損失	
固定資産処分損	84
その他	10
特別損失合計	95
税金等調整前四半期純利益	851
法人税等	298
少数株主利益	96
四半期純利益	457

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	851
減価償却費	1,086
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	100
受取利息及び受取配当金	△118
支払利息	110
為替差損益 (△は益)	△16
持分法による投資損益 (△は益)	△63
有形固定資産売却損益 (△は益)	83
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,517
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△521
仕入債務の増減額 (△は減少)	△694
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	1,272
その他	21
小計	594
利息及び配当金の受取額	118
利息の支払額	△110
法人税等の支払額	△302
営業活動によるキャッシュ・フロー	300
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△158
定期預金の払戻による収入	120
有価証券の取得による支出	△15
有価証券の売却による収入	15
有形固定資産の取得による支出	△1,856
有形固定資産の売却による収入	1,171
投資有価証券の取得による支出	△3
貸付金の回収による収入	1
その他	△24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△749
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	320
長期借入金の返済による支出	△1,371
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△287
少数株主への配当金の支払額	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,342
現金及び現金同等物に係る換算差額	60
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,731
現金及び現金同等物の期首残高	12,611
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,879

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

自動車部品製造販売事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	26,581	972	1,584	29,138	—	29,138
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	268	51	64	384	△384	—
計	26,849	1,023	1,648	29,522	△384	29,138
営業利益又は営業損失(△)	251	△18	259	492	34	527

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	1,314	2,839	4,153
II 連結売上高(百万円)	—	—	29,138
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	4.5	9.8	14.3

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	28,237
II 売上原価	24,642
売上総利益	3,594
III 販売費及び一般管理費	3,631
営業損失(△)	△36
IV 営業外収益	380
1. 受取利息及び配当金	106
2. ロイヤリティ及び技術支援料	48
3. その他の営業外収益	225
V 営業外費用	220
1. 支払利息	99
2. その他の営業外費用	120
経常利益	123
VI 特別利益	3
1. 固定資産処分益	0
2. その他の特別利益	3
VII 特別損失	41
1. 固定資産処分損	40
2. その他の特別損失	0
税金等調整前四半期純利益	86
税金費用	74
少数株主持分	91
四半期純損失(△)	△80

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	86
減価償却費	1,064
貸倒引当金の減少額	△3
製品保証引当金の減少額	△170
退職給付・役員退任慰労引当金の増加額	35
受取利息及び受取配当金	△106
支払利息	99
有形固定資産処分損益	40
売上債権の減少額	1,620
たな卸資産の増加額	△719
未収入金他の増加額	△258
仕入債務の減少額	△820
未払費用他の増加額	647
長期預り金の減少額	△1,422
その他	78
小計	171
利息及び配当金の受取額	106
利息の支払額	△99
法人税等の支払額	△209
営業活動によるキャッシュ・フロー	△31
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入れによる支出	△127
定期預金の払出しによる収入	50
有形固定資産の取得による支出	△2,621
有形固定資産の売却による収入	2,165
投資有価証券の取得による支出	△102
その他	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△608
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額	△369
長期借入れによる収入	240
長期借入金の返済による支出	△1,454
配当金の支払額	△287
その他	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,875
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	66
V 現金及び現金同等物の減少額	△2,449
VI 現金及び現金同等物の期首残高	13,790
VII 現金及び現金同等物の期末残高	11,340

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

当社グループは自動車用照明器具、部品の製造販売を主たる事業とした専門メーカーですが、一セグメントの売上高、営業利益及び資産の金額は全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメント資産の金額の合計額に占める割合が、何れも90%超となっております。又、当該セグメント以外に開示基準に該当するセグメントがないため、その記載を省略しております。

b. 所在地別セグメント情報

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	25,914	1,239	1,434	28,587	△350	28,237
営業費用	26,036	1,317	1,298	28,652	△379	28,273
営業利益又は営業損失(△)	△121	△78	135	△64	28	△36